

# ホワイト & ケース 東京オフィス

グローバル・プラクティス



市場のグローバル化が世界規模で急速に進展する現代において、日本企業のグローバル化の波も新たなステージを迎えてます。日本企業は今、真のグローバルプレイヤーとしてグローバル市場においてその存在感を高めつつあります。他方、「失われた 20 年」と呼ばれる長期的な経済低迷下での内需不振とデフレからの脱却についても方向性が定まりつつあり、TPP 合意やインバウンド投資促進のための諸施策と相まって、グローバルに開かれた市場として、日本市場自体の活性化の兆しも現れ始めています。

市場のグローバル化に伴い、日本企業の活動領域も、欧米先進国からアジア・中南米・アフリカ等の新興市場まで多岐にわたり、日本企業がグローバルの多国籍企業と直接市場をまたいで競争する時代となっています。このような環境下で、日本企業がグローバルに直面する法律上の課題や対応すべきリーガル・リスクも極めて複雑・困難なものとなっており、かかる複雑かつ困難な法務上の課題・リスクに対し、比較法的な見地を踏まえつつ、各市場の実情に根差した実務的なリーガル・アドバイスが提供されることの重要性は言をまたないところです。また、日本市場がグローバルに開かれた市場として十分その魅力を今後発揮していく上で、グローバルローファームは、必要不可欠なインフラとして、その一翼を担うものです。

ホワイト & ケースは、世界 29 地域 41 拠点を通じてワンファームとしてのリーガル・サービスを提供するグローバルローファームです。グローバルネットワークの提供する付加価値とグローバルローファームの核となる拠点の一つとして日本で長年培った当事務所の知識・経験を活用して、クライアントの事業戦略の達成を法務面からサポートしています。クライアントの皆様には、当事務所のグローバルケイパビリティとローカルマーケットへのコミットメントに根差した国際的法律業務への対応力を高く評価頂いています。

# 日本のマーケットにコミットする グローバルプラットフォーム



## 長期にわたる日本に対するコミットメント

ホワイト & ケースは 1901 年に米国ニューヨークにおいて設立しました。米系法律事務所として早くから国際化を進め、1987 年に東京オフィスを開設しました。東京オフィスは 1995 年に外資系法律事務所として初めて日本の弁護士と特定共同事業を開始し、日本法と外国法双方のサービスをワンストップ形式で提供する態勢を整えるなど、日本に根ざした国際的な法律事務所として発展してきました。私たちは、国・地域・グローバルそれぞれのレベルで培った専門的な知見に基づいて、クライアントが直面する複雑な課題に最適な解決方法を導き出します。

## 外国法事務弁護士とのワンチーム体制

東京オフィスは、日本法の弁護士と英米法を中心とする外国法事務弁護士で陣容を固め、クライアントの事業活動に関わる多様な法務ニーズに対応しています。

東京オフィスに在籍する日本法・外国法の弁護士のほぼ全員が日本語・英語に堪能なバイリンガルです。また、外国法事務弁護士は、そのほとんどが日本に定住しています。日本の商慣習や産業の動向、諸外国との文化の違いなどを深く理解する弁護士・外国法事務弁護士が、クライアントの国際的な事業を効率的にサポートします。

## ワンストップ形式のグローバルリーガルサービス

東京オフィスでは、一般企業法務、M&A（買収・合併）、金融、エネルギー、プロジェクト、紛争、独占禁止法（競争法）、知的財産権、不動産など、企業活動において求められるほぼすべての業務を取り扱い、幅広い分野で豊富な経験と実績を有しています。

ホワイト & ケースは、世界 29 カ国 41 拠点が相互に連携し合うグローバルネットワークを擁する、真にグローバルな法律事務所です。国境をまたぐクロスボーダー案件に取り組む場合は、東京オフィスに窓口を一本化しつつ、オフィス横断型のチームを編成し、日本法と外国法双方のサービスをワンストップ形式で提供することが可能です。

**“They always try to understand our concerns and give a potential solution.”**

**“They provide us with a wide range of services and have many highly experienced lawyers. Even for a complicated and big transaction, they can handle it.”**

## Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)

**プロジェクトおよびエネルギー、不動産、事業再生および倒産の分野で Tier 1 の評価を獲得**

The Legal 500 Asia-Pacific 2017 (日本)

**国際通商の分野で Band 1 の評価を獲得**

Chambers Global 2017 (日本)

Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)

**バンキングおよびファイナンス（アセットファイナンス）、不動産の分野で Band 1 の評価を獲得**

Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)

**最優秀プロジェクト、エネルギー、インフラストラクチャー法律事務所賞を受賞**

**最優秀 M&A 案件賞（プレミアム）、最優秀テクノロジー・メディア・通信（TMT）案件賞、最優秀日本ディール賞を受賞（ソフトバンクによる ARM Holdings 買収の案件）**

ALB Japan Law Awards 2017

## 東京オフィスの 主な取扱業務

アセットファイナンス

バンクファイナンス

リストラクチャリングおよび倒産

キャピタル・マーケット

エネルギー、インフラストラクチャー、  
プロジェクトファイナンス

不動産

一般企業法務／M&A（買収・合併）

労務・コンプライアンス

紛争解決

国際通商

独占禁止法・競争法

知的財産権

# アセットファイナンス

ホワイト & ケースは、アセットファイナンスの分野で主導的地位を誇る法律事務所です。アセットファイナンスは一般的に、複雑で高度な仕組みが用いられ、税務上・会計上の観点も考慮して組成されており、全当事者のニーズと要請に適切に対応するため、慎重な分析を行うことが求められます。当事務所は、この分野で高い専門性を有しており、あらゆる立場の当事者に対応しています。

## アセットファイナンス

航空機・船舶金融の分野で定評がある東京オフィスのアセットファイナンスチームは、オペレーティングリースやレバレッジドリース、担保付きローン、証券化、倉庫融資、輸出信用取引、ポートフォリオの取得、製造者保証取引、リストラクチャリングなど、あらゆる種類のリース取引やファイナンス取引を取り扱っています。

国内取引・国際的取引を問わず、エクイティ投資家や金融機関、製造業者、信託会社、レッサー、レッシー、プローカーなど様々な当事者を代理し、アセットファイナンスの組成や交渉を行います。

東京オフィスでは、米国法・英国法の外国法事務弁護士と日本法の弁護士が協働して、高度な仕組みの取引について法的助言を行っています。また、主要なアセットファイナンス取引に必要とされる様々な手法にも精通しており、幅広い知識に基づいて質の高いサービスを提供しています。



**“(White & Case is) ‘Excellent in terms of response times, knowledge, nature of advice and value for money’ and, according to clients, is ‘one of the best for ship and aircraft financing.’”**

**The Legal 500 Asia-Pacific 2017 (日本)**

**バンキングおよびファイナンス(アセットファイナンス)の分野で Band 1 の評価を獲得**

Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)

# バンクファイナンスおよびリストラクチャリング

ホワイト & ケースでは、バンクファイナンスおよびリストラクチャリングをグローバルプラクティスの中核の一つと位置づけています。複数のタイムゾーンや法域をまたぎ、複雑で厳しい交渉が行われる金融取引の分野でクライアントをサポートしています。

## バンキングおよびファイナンス

ホワイト & ケースの東京オフィスは、シンジケート・ローン、買収ファイナンス、レバレッジド・バイアウト、有担保・無担保ファイナンス取引、証券化、ストラクチャード・ファイナンスなど、様々な金融取引で豊富な経験を有しています。

東京オフィスでは、新規性の高い案件を多数取り扱ってきました。代表的事例としては、以下のような案件が挙げられます。

- 株式会社 LIXIL による、GROHE グループが所有する欧州の資産および同グループ子会社である Joyou グループが所有する中国の資産の取得を目的とした 13 億 9000 万ユーロの資金調達案件について助言
- モバイルデータ通信会社イー・モバイル株式会社の親会社で日本のインターネットサービスプロバイダーのイー・アクセス株式会社に対する 1650 億円(約 20 億米ドル) のシンジケート・ローンについて助言。この案件は、シンジケート・ローンとハイイールド債の発行を同時に組み合わせた日本初の取引で、Asian-Mena Counsel 誌より 2011 年最優秀デイール賞、Asiamoney 誌において 2011 年のベストレバレッジドファイナンス賞とベスト国際債券賞を受賞
- アジア史上最大規模のレバレッジド・バイアウトといわれる、ソフトバンクによるボーダーフォンの日本における携帯電話事業の買収およびその買収資金の借り換えを目的とする、世界最大の事業証券化による資金調達について助言。この案件は、Japan Asian Legal Business Awards において最優秀日本案件賞、最優秀証券化案件賞、最優秀 M&A 案件賞と 3 つの賞を同時受賞
- 代表的なクロスボーダー案件としては、日本の銀行に対する香港の準商業用不動産の証券化案件、三菱東京 UFJ 銀行に対する Florida Power & Light 社の子会社 FPL Group Capital Inc. への 125 億円のタームローン案件への助言など



**"[White & Case] impresses in global debt restructuring, corporate reorganisation, workouts and insolvency."**

**The Legal 500 Asia-Pacific 2017 (日本)**

## 事業再生および倒産の分野で Tier 1 の評価を獲得

The Legal 500 Asia-Pacific 2017(日本)

## リストラクチャリングおよび倒産

ホワイト & ケースのリストラクチャリング・倒産チームは、当事務所の中核業務であるバンクファイナンス、キャピタル・マーケット、倒産、訴訟、プライベートエクイティの知見を結集して案件に取り組む体制を確立しており、この分野で高い評価を得ております。

当事務所では、破綻企業との間の取引のあらゆる側面について、債権者、債務者、その他の市場参加者に対して助言を提供するほか、管財人等を務める大手会計事務所や専門業者の代理人として定期的に案件に従事しています。当事務所では、建設的で革新的、かつ費用対効果の高い解決策を導きだすこと重視しています。

東京オフィスのリストラクチャリング・倒産チームは、様々な国の法曹資格を有するバイリンガルの弁護士・外国法事務弁護士から編成されており、日本、米国、英国におけるリストラクチャリングのノウハウに精通しています。

# キャピタル・マーケット

世界の主要な金融センターにオフィスを構えるホワイト & ケースは、日本をはじめ世界各地で実行される証券取引および資本市場取引のあらゆる側面について最先端の法的サービスを提供しています。市況と共に変化するクライアントの資金調達戦略にも迅速に対応する体制を整えています。

サムライ債の発行、株式の新規公開、私募による証券発行、ライツ・オファリング、ハイイールド債や投資適格債の募集、買入消却、ストラクチャードファイナンス、公開買付など、さまざまな証券取引について法的アドバイスを提供しています。複数の国での同時発行や、日本企業による海外市場における預託証券の募集・売出しに関する助言で豊富な実績を有しています。

東京オフィスではこれまでに、画期的なキャピタル・マーケット案件を多数手掛けてきました。その代表的事例として、カタール国営石油公社による国際協力銀行の保証付きサムライ債の発行があります。このサムライ債は、カタール国営石油公社が日本で初めて発行した円建て債で、総額は 850 億円（約 10 億米ドル）にのぼりました。また、当事務所が法律顧問を務めた画期的な案件についてのもう一つの事例として、長年のクライアントであるセキュアード・キャピタル・ジャパンによる日本初の特定社債の買戻し案件があります。



**“(White & Case is) Well known for its skilful handling of securitisation matters, with lease receivables and repackaging issues being a specialism.”**

**Chambers Global 2017 (日本)**

**Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)**

ホワイト & ケース東京オフィスの M&A プラクティスは、日本法の弁護士と英国・米国をはじめとする外国法事務弁護士から構成され、国境をまたぐ M&A の分野において日本市場をリードする地位を築いています。日本のリーガルマーケットと経済界で長年にわたり導師として活躍している熟練の日本人弁護士と外国法事務弁護士が日本 M&A チームを率いています。

ホワイト & ケースは、M&A に係る取引の全ての段階においてクライアントに真に価値あるサービスを提供することを追求しています。デューデリジェンス（精査）や取引の執行といった業務から、戦略的な事業目標の設定、その目標達成に最適なストラクチャーの設計、業務上および法的なリスクの評価及び管理、コーポレートガバナンスに関する助言、クロージング後の統合（PMI）の計画策定とそのサポートに至るまで、様々なサービスを提供しています。

ホワイト & ケースのグローバルネットワークと東京オフィスの M&A チームが培った他に比類のない国際実務の経験を活用し、案件毎に最適なチームを編成することで、国・地域をまたぐ極めて複雑な案件に取り組むことができます。

東京オフィスの M&A チームの特徴の一つは、在籍する日本法弁護士と外国法事務弁護士の全員が日本語と英語の両方に堪能であることです。これにより、海外から日本へ進出するインバウンド、日本から海外へ進出するアウトバウンド双方の案件のいかなる側面についても、クライアントの必要とする言語で助言を提供することが可能です。私たちは、日本でこのようなサービスが提供できる、数少ない国際的法律事務所の一つであると自負しています。

複雑性と迅速化の要請が高まるクロスボーダー M&A 案件において、クライアントの母国語または社内公用語による機動的かつ迅速に法的アドバイスを提供することは、クライアントの社内意思決定プロセスの簡略化や高速化を可能にし、ひいては投資機会を迅速に捉えることにも寄与します。



**"They provide us with a wide range of services and have many highly experienced lawyers. Even for a complicated and big transaction, they can handle it."**

**Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)**

**最優秀 M&A 案件賞（プレミアム）、最優秀テクノロジー・メディア・通信（TMT）案件賞、最優秀日本ディール賞を受賞（ソフトバンクによる ARM Holdings 買収の案件）**

ALB Japan Law Awards 2017

当事務所は、国際的案件に関与しバイリンガルな法的サービスを提供した経験を長年にわたって蓄積しています。その代表的事例として、2013 年に株式会社豊田自動織機が米国ニューヨーク証券取引所（NYSE）上場の Cascade Corporation を買収した案件（買収総額 7 億 5900 万米ドル）があります。この案件で当事務所は豊田自動織機を代理し、株式公開買付け（TOB）およびその後の合併手続き、独占禁止法に基づく手続きなどを取り扱い、Cascade Corporation の間接的 100% 子会社化をサポートしました。独占禁止法の側面からは、米国司法省による 4 カ月に及ぶ調査に際し、あらゆる救済の申請も回避する形で調査完了へと導き、買収完了の要件である認可を獲得しました。当事者は合併契約上の期限内に取引を完了するだけでなく、追加的な費用も回避することができました。当事務所は、この案件に関するすべての側面について法的サービスを提供しました。

# 紛争解決・競争法

東京オフィスの紛争解決チームは、日本の弁護士と米国・英国の法曹資格を有する弁護士により構成されています。紛争とリスクの回避に有効な防衛策の構築についてクライアントに助言を行います。紛争となった場合には、迅速かつ費用効果の高い形でクライアントに解決策を提供します。

東京オフィスでは、様々な業界の紛争解決を取り扱っています。特に、以下の分野において優れた実績を有しています。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| □ 独占禁止法・競争法   | □ 破産・事業再編     |
| □ 航空機／船舶      | □ 知的財産権       |
| □ 建設・エンジニアリング | □ 國際通商法／WTO 法 |
| □ 販売・供給契約     | □ M&A・合弁事業    |
| □ 労働問題        | □ 製品責任・製品安全   |
| □ 金融取引に関わる紛争  | □ 法規制調査       |
| □ 海外汚職行為防止法   | □ ホワイトカラー犯罪   |
| □ インフラプロジェクト  |               |

ホワイト＆ケースの紛争解決チームには、世界中に総勢 500 名以上の紛争処理の経験を有する各国法弁護士が所属しています。グローバルネットワークを活用することにより複数の法域・時間帯をまたいで、迅速かつ費用効果の高い形で法務サービスを提供しています。

紛争解決チームでは、東京をはじめとして、ロンドン、パリ、フランクフルト、ストックホルム、ワシントン DC、ニューヨーク、メキシコシティ、シンガポールなどを拠点に、先進諸国から新興諸国までグローバル規模で紛争解決に対処しています。



**“They (Competition/Antitrust team) were very knowledgeable especially in explaining in a Japanese context.”**

**Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)**

**“The ‘excellent’ team at White & Case LLP – White & Case Law Offices (Registered Association) excels in cartel investigations, unfair trade cases and supply chain advice.”**

**The Legal 500 2017 (日本)**

**国際通商の分野で Band 1 の評価を獲得**

Chambers Global 2017 (日本)

Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)

# エネルギー、インフラストラクチャー、プロジェクトファイナンス

ホワイト & ケースのプロジェクトおよびエネルギーチームは、アジア太平洋地域における最も経験豊富なチームの一つに数えられています。世界最大級のプロジェクトに関与し数々の革新的な解決策を提供した実績に基づき、クライアントのニーズに応える創造的な助言を提供するチームとして評価を得ています。

## プロジェクトおよびエネルギー

東京オフィスのチームでは、プロジェクトの組成・展開や資金調達、M&A、オフティクおよび輸送、行政規制、建設、運営維持管理、その他プロジェクトに関わる法的な課題について助言を提供しています。また、当事務所が取り扱う案件は、石油・ガスや液化天然ガス (LNG)、石油化学製品、鉱業、金属、電力、クリーン技術、再生可能エネルギー、通信その他のインフラなど幅広い分野に及んでいます。東京オフィスのチームは、近時は LNG プロジェクトの大多数を手がけるなど、世界最大級の案件や世界的に注目された案件について助言した実績を有しています。

東京オフィスのチームは、数多くの世界的な案件でスポンサーやレンダーの代理を務めた実績があります。中でも、国際協力銀行と金融機関の代理を務めたサハリン II 案件は、ロシアに対する最大規模の外国投資案件として、またノンリコースのプロジェクトファイナンスを採用した世界で最大規模の石油ガスプロジェクトとして注目されました。このほか、日本の大手電力・ガス会社を代理して、LNG のグリーンフィールドプロジェクトへのエクイティ投資と、そのプロジェクトからの LNG オフティク契約の締結も行いました。



**"They always try to understand our concerns and give a potential solution."**

**Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)**

**プロジェクトおよびエネルギーの分野で Tier 1 の評価を獲得**

The Legal 500 Asia-Pacific 2017 (日本)

**最優秀プロジェクト、エネルギー、インフラストラクチャー法律事務所賞を受賞**

ALB Japan Law Awards 2017

今日の複雑な世界では、ほぼ全ての不動産投資が多面性を有しています。不動産プロジェクトと投資の成功の可否は、革新的なストラクチャー、ファイナンス、開発手法などによって決まります。ホワイト & ケースはそれぞれの取引に応じて、様々な分野にまたがる総合的なサービスを提供します。

高い対応能力を有すると共に、商取引上の取り扱いにも精通している東京オフィスのチームは、日本における不動産マーケットおよび不動産ファイナンスのほぼ全ての側面において豊富な経験を有しています。東京オフィスの不動産チームは、クライアントが直面するビジネス上の問題を十分に理解した上で総合的かつ専門的な解決策を提供し、詳細な知識に基づく明確なアドバイスを提供しています。

世界各国のオフィスで得られた経験と能力を組織内で共有・活用し、東京オフィスでは、日本における不動産および不良債権の所有、組み立て、取得、開発、建設、訴訟、運営、管理、ファイナンスおよび証券化に関する総合的なリーガルサービスを提供しています。

当事務所が提供することのできるサービスは、次のとおりです。

- 不動産ファンド投資および組成
- 資産の流動化に関する法律に基づく特定目的会社の設立、適格性付与、取引のストラクチャリング
- 新しい形態の金融商品等の不動産法に関する側面についてのアドバイス
- ローン再編、私的再建および不良資産の取得・回収等に関する破産手続き開始前後における戦略
- 政府機関による許認可手続等における代理
- 民事訴訟および仲裁手続における代理
- 国内および海外のエンジニアリング・建設プロジェクト
- 建築、エンジニアリングおよび他の専門的な役務提供契約の作成



**“They are very reliable and we trust their opinions.”**

**“They have a lot of counsels who know our internal processes and what sort of risks we are concerned about.”**

**Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)**

## 不動産の分野で Tier 1 の評価を獲得

The Legal 500 Asia-Pacific 2017 (日本)

## 不動産の分野で Band 1 の評価を獲得

Chambers Asia-Pacific 2017 (日本)

市場の低迷期においても、東京オフィスの不動産チームは多くの重要な取引に関与し、柔軟で創造的なソリューションを提供し続けてきました。セキュアード・キャピタル・ジャパンが特定目的会社を利用して東京のパシフィックセンチュリープレイス丸の内ビルを買収した案件においては、セキュアード・キャピタル・ジャパンに助言を行いました。2009 年の日本最大規模の不動産取引であるこの案件は、ALB 誌による「2010 年最優秀不動産ディール賞」を受賞しました。

# 世界におけるホワイト & ケースについて

ホワイト & ケースは、世界の重要な国・地域で長い歴史とネットワークを有する国際的な法律事務所です。現地法や英国法、米国法の資格を持つ弁護士が現地オフィスでの実務を通じて培った経験・知識を組織内で共有することにより高い専門性に基づいたサービスを提供し、クライアントのあらゆる企業活動のニーズに対応しています。

当事務所では、個々の状況に応じた考察と判断を示すことにより、クライアントを問題解決へと導きます。これまでに、革新的なアプローチにより、複雑度の高い案件や訴訟で数々の独創性に富む解決策を導き出してきました。

私たちは、クライアントの視点で考えることを原点に、クライアントが何を求めているのかを予測し、クライアントに必要なものを提供しています。そうした取り組みこそが、クライアントと長期的な関係を築くために重要であると考えます。

## Global 20 Law Firm 調査で第1位を獲得

Law360 2017

## 4つのグローバル・リーガル賞を受賞

The American Lawyer 2017

## 最も革新的な法律事務所調査の北米部門で トップ3にランクイン

Financial Times Innovative Lawyers

North America 2016 Report

## 欧州における最も革新的な米国系法律事務所に 選ばれる

International Financial Law Review 2016

## ダイバーシティ部門第1位を獲得

The American Lawyer Diversity Scorecard 2017

Law360 2017

## 国際法律事務所タレント・マネジメント部門で 最優秀賞を受賞

Euromoney Legal Media Group 2017

## 法務アドバイザーのグローバル M&A 部門 (金額ベース) で第1位を獲得

Mergermarket および Bloomberg の 2016 年

M&A リーグテーブル

## 国際紛争解決分野で第1位

Global Arbitration Review 2017

## 競争法における最優秀法律事務所賞

LMG Life Sciences Awards 2017

# ホワイト & ケースのオフィス一覧

## 北米・中南米

**ワシントンDC**  
T +1 202 626 3600

**ニューヨーク**  
T +1 212 819 8200

**ボストン**  
T +1 617 979 9300

**ロサンゼルス**  
T +1 213 620 7700

**マイアミ**  
T +1 305 371 2700

**シリコンバレー**  
T +1 650 213 0300

**メキシコシティー**  
T +52 55 5540 9600

**サンパウロ**  
T +55 11 3147 5600

## ヨーロッパ・中近東・アフリカ

**ロンドン**  
T +44 20 7532 1000

**パリ**  
T +33 1 55 04 15 15

**ベルリン**  
T +49 30 880911 0

**デュッセルドルフ**  
T +49 211 49195 0

**フランクフルト**  
T +49 69 29994 0

**ハンブルク**  
T +49 40 35005 0

**ジュネーブ**  
T +41 22 906 9800

**ブリュッセル**  
T +32 2 239 26 20

**ミラノ**  
T +39 02 00688 300

**マドリード**  
T +34 91 787 6300

**リヤド\***  
T +966 11 499 3600

**ストックホルム**  
T +46 8 506 32 300

**ヘルシンキ**  
T +358 9 228 641

**ワルシャワ**  
T +48 22 50 50 100

**プラハ**  
T +420 255 771 111

**プラチスラヴァ**  
T +421 2 5441 5100

**モスクワ**  
T +7 495 787 3000

**アстана**  
T +7 717 255 28 68

**イスタンブール**  
T +90 212 354 2000

**アブダビ**  
T +971 2 611 3400

**ドバイ**  
T +971 4 381 6200

**ドーハ**  
T +974 440 64300

**カイロ**  
T +202 2461 8200

**ヨハネスブルグ**  
T +27 11 341 4000

## アジア太平洋

**東京**  
T +81 3 6384 3300

**北京**  
T +86 10 5912 9600

**上海**  
T +86 21 6132 5900

**香港**  
T +852 2822 8700

**シンガポール**  
T +65 6225 6000

**ソウル**  
T +82 2 6138 8000

**シドニー**  
T +61 2 8249 2600

**メルボルン**  
T +61 3 8486 8000

**ジャカルタ\***  
T +62 21 2992 7000

\*Associated firm

東京

---

ホワイト & ケース外国法事務弁護士事務所  
ホワイト & ケース法律事務所  
(外国法共同事業)

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館26階  
T 03 6384 3300  
F 03 3211 5252

[whitecase.com](http://whitecase.com)